

活動履歴と今後の予定

- 7/4 あすと長町第三市営住宅みのり会役員会
- 7/12 しおたが被災者支援ネットワーク会議
- 7/14 東北工業大学地域未来学登壇
- 8/23 熊谷ビル洗面室DIY
- 8/24 熊谷ビル洗面室DIY
- 8/27 あすと長町第二市営住宅集会所Wi-Fi開設
- 8/30 北浜住宅役員会
- 8/30 熊谷ビル洗面室DIY
- 8/31 熊谷ビル洗面室DIY
- 9/2 としまち研・一木会登壇
- 9/5 あすと長町第三市営住宅みのり会役員会 (10/3へ延期予定)
- 9/7 第3回理事会
- 9/11 あすと長町第二市営住宅親子向けイベント (10/9へ延期予定)
- 9/25 あすと長町第二市営住宅高齢者向けイベント (10/23へ延期予定)

あすと食堂、
お休み中です…

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
お休みしています。

再開を
どうぞ
お楽しみに！

会員数
正会員 30 (+1)
賛助会員 26 (+3)

facebook
いいね!数 548 (+97)

2021年9月1日 現在(前号比)

入会のご案内／寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町から始まり広がった復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆様からの会費や寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願いいたします。賛助会費及び寄付金は寄付金控除の対象となります。会員申込みやご寄付は、ネットからもお手続きいただけます。 <https://tsunacen.thebase.in/>



継続的に応援するには
正会員又は賛助会員にご入会ください。
・正会員：年間6,000円・総会議決権あり
・賛助会員：年間3,000円・総会議決権なし

寄付のお振込先
＜口座名義＞特定非営利活動法人つながりデザインセンター
●郵便振替：02230-8-121908
●郵便振込：ゆうちょ銀行 二二九支店（ニニキュウ） 当座預金 0121908

会員団体のみなさま

- @グリーン(宮城大学ボランティアサークル) SD不動産 NPO法人アートワークショップすんぷちょ NPO法人 仙台傾聴の会
- NPO都市住宅とまちづくり研究会 NPO法人東日本ネットワーク手にとり隊 NPO法人 みやぎ「こうでねい」と
- 株式会社ミツイ 共立女子大学 高橋研究室 CASEまちづくり研究所 高齢者配食サービス「ほっと亭」 今野不動産株式会社
- 社会福祉法人ライフの学校 スタジオまめちようだい 仙台白百合女子大学 佐々木研究室
- 仙台南健康友の会 つばさ薬局長町店 東北工業大学 新井研究室 東北工業大学 谷本研究室
- 東北大学 東日本大震災PGT支援機構 宮城大学 平泉研究室 東北学院大学 坂本研究室 都市建築設計集団/UAPP
- 長崎大学安武研究室 宮城厚生協会長町病院 宮城大学 森本研究室 有限会社栗駒建業

役員名簿

- 代表：薄田 榮一
- 副代表：新井 信幸
- 理事：及川 多香子
- 理事：加藤 渉
- 理事：松原 久
- 理事：宮本 愛
- 監事：金沢 和樹
- 監事：佐々木 裕子

編集後記

東京五輪2020開会式で話題となったピクトグラム。意味を分かりやすく親しみやすく伝える絵文字なわけですが、最近では、SDGsの17の目標も色とりどりに彩られ、楽しく前向きに社会貢献ができそうな、そんな気分させてくれます。さらに、そんな気分を実際の行動に移させてくれる何かがあると、もっともっと生きやすい社会になっていくのではないのでしょうか。そんな何かにつなセンはなりたい。〈新井〉

認定NPO法人

つながりデザインセンター

〒983-0841 仙台市宮城野区原町五丁目5番35号 熊谷ビル205

TEL 080-3205-5177
MAIL asuto@tsuna-cen.com
WEB www.tsuna-cen.com



つなセン TSUNAGARI Design Center NEWS



紙面には、復興に向けて日々の取り組みに尽力する各地の日常も刻まれている

日々の関心事の発信を目指して

つなセンNEWSを振り返る
シェアハウスDIY報告～漆喰大作戦！～
令和3年度通常総会とシンポジウムを開催しました
【団体紹介 番外編】会員団体からみるつなセン

活動報告

Main Topic

つなセンNEWSを振り返る



▲第1号(「あすと新聞」時代)では、設立総会の様子を紹介する記事がメイントピックスでした。

1 ほどよい実践と理論

おかげさまで、この度、つなセンNEWSは20号を迎えることができました。そこで今回は、「Main Topics」記事について過去19号分を振り返ってみたいと思います。内容で分けると、被災地での活動の様子が8記事、地域の仕組みや運営の解説・論説が7記事、シェア施設の活動の様子が3記事となっています(1号除く)。私たちは住まいまちづくりの実践と理論のバランスを大事にしながら取り組んできたつもりでしたので、紙面もそれなりにほどよい状態のようで、少しほっとしています。

2 「復興」のない復興支援

一方、つなセンの取り組みは、始めから現在まで復興支援を行ってきたつもりでした。しかし「復興」という文字が見られるのは、「表紙タイトル」や「Main Topicsタイトル」を見渡しても、2号の「益城町で復興サポート」だけです。たしかに、これまで被災者の口から「復興」という言葉を聞く機会がほとんどありませんでしたので、そうしたことが反映しているのかも知れません。「復興」が被災者のものになっていない証拠とも言えそうです。

3 自分たちの言葉で

震災から10年半が経ち、いよいよメディアでも「復興」という文字が見られなくなりました。被災地の現状は、福島を筆頭に空き地だらけだったり、瓦礫のままだったり、「復興」という語感とはかけ離れた状態の地域がまだまだ多くみられるというのに。一方で、「地域創生」や「SDGs」という言葉が行政の方から聞こえてきます。私たちは、そうした響きに惑わされることなく、自分たちの、あるいは現場に適した言葉で、宮城を中心とした東北の住まいまちづくりの実践や新たな仕組みづくりについて、21号以降もお届けできればと思っています。

Topics

シェアハウスDIY報告～漆喰大作戦！～

シェアハウス長町南では、2階の空き部屋のDIYを行いました。この部屋は砂壁部分が多く、地震の度に壁面の剥離がみられた部屋でした。調べたところ、砂壁に定着剤を塗ると、その上からペンキや漆喰を塗れることがわかりました。そこで清掃スタッフと共に壁面のDIYを行うことにしました。実は今年度に入り、シェアハウスの清掃や菜園整備に新しい2名のスタッフが加わりました。佐藤さんと庄子さんです。お2人とも子育て中のママということもあり、主婦の知恵で細かいところまで丁寧に、住みよく整えてくれます。今回の漆喰



作業もそれぞれのお子さんも手伝いに来て、にぎやかに作業することができました。今回使用した漆喰はホームセンターなどに売っているもので「漆喰うまくヌレール」という商品で、ゴム手袋をした手にとり直接壁に塗っていました。その名の通りうまくヌレました！また運良く洋風の照明器具を譲ってくれる方がいて、純和風だったお部屋の照明も新しくなり、全体的に明るい雰囲気のお部屋に完成しました。早速入居者も決まり、シェアハウスの空室は残り1つとなっています。



作業もそれぞれのお子さんも手伝いに来て、にぎやかに作業することができました。今回使用した漆喰はホームセンターなどに売っているもので「漆喰うまくヌレール」という商品で、ゴム手袋をした手にとり直接壁に塗っていました。その名の通りうまくヌレました！また運良く洋風の照明器具を譲ってくれる方がいて、純和風だったお部屋の照明も新しくなり、全体的に明るい雰囲気のお部屋に完成しました。早速入居者も決まり、シェアハウスの空室は残り1つとなっています。

令和3年度通常総会とシンポジウムを開催しました

6月13日通常総会を開催し、前年度の事業報告ならびに決算報告が承認されました。今回も、オンラインと会場参加の両方を合わせたハイブリット型開催となりました。総会終了後は第19回つながりデザイン会議「エリアマネジメントとは？」を開催し、横浜市立大学国際教養学部教授の齊藤広子さんから、日本のエリアマネジメント導入の経緯、理念、先進事例などをご紹介いただき、錦二丁目エリアマネジメント株式会社代表取締役名畑恵さんから、取り組みから事例報告を頂きました。齊藤さんは、関西弁を織り交ぜながら、

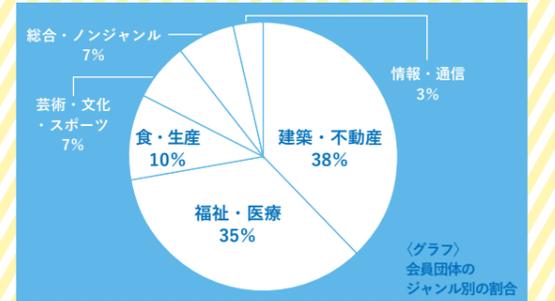


エリアマネジメントの概念を実践例を取り上げて、軽快なトークと共にとても分かりやすくプレゼンしてくださいました。参加された方のアンケートからは「エリアマネジメントを初めて学ばせていただきました。自分の地域に活用できるように、本日の内容からさらに深掘していこうと思います」「とても参考になる話だったので、仙台市や宮城県等の行政の方にも聴いてもらいたかったです」となどの感想が寄せられました。



会員団体紹介番外編

会員団体からみるつなセン



このコーナーでは、これまでに19団体のつなセン会員のみなさんを紹介させていただきました。今回はまだ紹介できていない団体の方も含めて29団体を集計し、つなセンがどういった方々から支えられているのか見ていきたいと思います。なおジャンル等は勝手に分けさせていただきましたので、その点をご容赦ください。

活動内容のジャンル(上記グラフ)では、〈建築・不動産〉38%(11)が最も多く、続いて〈福祉・医療〉35%(6)、〈食・生産〉10%(3)、〈芸術・文化・スポーツ〉7%(2)、〈総合・ノンジャンル〉7%(2)、〈情報・通信〉3%(1)でした。また組織形態では、〈企業〉35%(10)が最も多く、続いて〈大学〉31%(9)、〈NPO法人〉24%(7)、〈任意〉10%(3)でした。

孤立を防ぐ住まいまちづくりを展開するつなセンにとっては、バランスのいい関係性が築けていて、安心感と充実感が得られる結果となりました。一方、時代の潮流をふまえると〈情報・通信〉系の方々との関係性の強化が課題ではないかと思っています。